

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第6部門第1区分
 【発行日】平成23年10月6日(2011.10.6)

【公表番号】特表2011-506917(P2011-506917A)
 【公表日】平成23年3月3日(2011.3.3)
 【年通号数】公開・登録公報2011-009
 【出願番号】特願2010-536378(P2010-536378)
 【国際特許分類】

G 0 1 N 33/68 (2006.01)

G 0 1 N 33/574 (2006.01)

【F I】

G 0 1 N 33/68

G 0 1 N 33/574 Z N A A

【手続補正書】

【提出日】平成23年8月16日(2011.8.16)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

インビトロでの結腸直腸癌(CRC)の検出方法であって、該方法は

a)セプラーゼポリペプチドおよび／またはその断片、

b)抗p53、および／またはオステオポンチンおよび／またはフェリチン、および

c)任意にCRCの1つ以上の他のマーカー

の濃度および／または活性を全血、血清または血漿試料中で測定する工程、ならびに

d)CRCの検出において工程(a)および工程(b)および任意に工程(c)の組み合わせた測定結果を使用する工程

を含み、セプラーゼおよび／またはフェリチンそれぞれの濃度の減少、および／または抗p53および／またはオステオポンチンそれぞれの濃度の上昇がCRCを示す、方法。

【請求項2】

少なくともセプラーゼおよび抗p53の測定結果がCRCの検出のために組み合わせられる、請求項1記載の方法。

【請求項3】

少なくともセプラーゼおよびオステオポンチンの測定結果がCRCの検出のために組み合わせられる、請求項1記載の方法。

【請求項4】

少なくともセプラーゼおよびフェリチンの測定結果がCRCの検出のために組み合わせられる、請求項1記載の方法。

【請求項5】

任意に1つ以上の他のマーカーが癌胎児性抗原(CEA)およびCYFRA21-1からなる群より選択される、請求項1記載の方法。

【請求項6】

少なくともセプラーゼ、CEA、オステオポンチンおよびフェリチンの測定結果が組み合わせられる、請求項1～3および5のいずれか一項に記載の方法。

【請求項7】

少なくともセプラーゼ、CEA、抗p53、CYFRA21-1、CEAおよびフェリチンの測定結果が組

み合わされる、請求項 1 ～ 6 いずれかに記載の方法。

【請求項 8】

セプラーゼポリペプチドおよび／またはその断片の濃度、および／またはセプラーゼおよび／またはその断片を含む複合体の濃度が測定される、請求項 1 ～ 7 いずれかに記載の方法。

【請求項 9】

CRCの検出のための少なくともセプラーゼおよび抗p53の測定結果を含むマーカーパネルの使用。

【請求項 10】

CRCの検出のための少なくともセプラーゼおよびオステオポンチンの測定結果を含むマーカーパネルの使用。

【請求項 11】

CRCの検出のための少なくともセプラーゼおよびフェリチンの測定結果を含むマーカーパネルの使用。

【請求項 12】

CRCの検出のための少なくともセプラーゼ、CEA、抗p53およびフェリチンの測定結果を含むマーカーパネルの使用。

【請求項 13】

CRCの検出のための少なくともセプラーゼ、CEA、抗p53、CYFRA21-1、CEAおよびフェリチンの測定結果を含むマーカーパネルの使用。

【請求項 14】

請求項 1 ～ 8 いずれかに記載の方法を行うための手段または請求項 9 ～ 13 いずれかに記載の使用によるマーカーパネルを測定するための手段を含むデバイス。

【請求項 15】

請求項 1 ～ 8 いずれかに記載の方法を行うための手段または請求項 9 ～ 13 いずれかに記載の使用によるマーカーパネルを測定するための手段を含むキット。